

回生 ニュース

K a i s e i N e w s



社会医療法人 峰和会

99号

2018.3月発行

発行 / 社会医療法人 峰和会
編集 / 鈴鹿回生病院
所在地 / 鈴鹿市国府町112番地の1
TEL / 059-375-1212
FAX / 059-375-1717
URL / <http://www.kaiseihp.com>
編集協力 / TCKnagoya

- 1 医療の現場から
「医事課役割紹介」
- 2 あなたの街のお医者さん
「玉田クリニック」
- 3 鈴鹿回生病院診療担当医師一覧表
交通案内（三重交通バス・シャトルバス時刻表）
- 4 鈴鹿回生病院附属クリニック診療担当医師一覧表
- 5 健康コーナー「医食動源」
・認知症シリーズPart5 ～認知症と生活習慣病～
・ツナと菜ばなの春巻き
- 6 回生.com
「ドクターズリスト」整形外科 植村 剛
- 7 Information

ほっと smile 他

第10回入賞作品

第11回 桜 フォトコンテスト開催!



今回で11回目を迎えます。皆様のご応募お待ちしております。

応募方法

・申込み用紙に必要な事項をご記入の上、作品と併せて応募箱へ入れていただくか、当院広報委員会宛へ郵送してください。

応募箱設置場所

・クリニック受付・小児科プレイルーム・クリニック処置室・病院総合受付

その他

- ・写真はA4サイズで印刷してください。縦、横どちらでも結構です。
- ・作品には必ず回生病院敷地内の桜を入れてください。
- ・作品はお一人1点までとさせていただきます。

受付期間

3/19(月)～4/13(金)まで

※開花時期により期間は変更になる場合があります。

展示期間

4/17(火)～5/14(月)AMまで

選考方法

作品は附属クリニック多目的室に掲示し、患者さんと審査員の投票結果にて選考します。

※ご応募いただいた作品は返却いたしませんので予めご了承ください。

応募者全員に参加賞を進呈します。また、投票の結果でお二人の方に賞状と副賞を進呈します。

第10回入賞作品



「理事長賞 待ちわびた春」



「桜の駐車場」



「院長賞 こけていしゅ」



「初めての桜」

医事課の 役割紹介

Introduction

医事課では、日々の外来患者さんに対する「外来医事業務」、入院患者さんに対する「入院医事業務」、医療費の請求に係る「保険請求業務」、病院の運営に必要な「医事統計業務」、外来・入院の診療録などの管理に係る「診療情報管理業務」などの業務を行っています。今号は、昨年4月に医事課長に就任した浜本医事課長にお話を伺いました。

医事課長として

鈴鹿回生病院に入職して以来医事課に勤務しており、今年で丸15年になります。入職当初は、入院の会計業務が主でした。当時はまだ自動精算機などの機器はなく、今以上にお一人おひとりの患者さんと接する業務でした。患者さんからの質問に対してわからなければ調べて、患者さんに適切な情報を提供できて感謝された時は、やり甲斐を感じ嬉しかったのを覚えています。医事課長に就任した現在は、病院が方向性を決めるにあたり、少しでも自分が提案した事案がいい方向に影響した時は、充実感がありますね。その分責任の重さは感じております。

医事課にとって大切なこと

ありきたりですが、患者さんの立場にたった対応が出来ることが第一だと思います。求められるニーズは変わってきますので、適切な対応をするためには、医療を取り巻く環境・情報の把握も必要です。これが出来ないと近隣の医療機関から取り残されてしまうので、プラスαのサービスという点では、常日頃新しいことに挑戦していかなければならないと思っています。また、医事課は病院を運営していく上で収入に関わる重要な役割を担っています。医

療制度は2年に1回変わっていきまので、常に勉強です。そこに医事課がしっかり情報収集し把握をした上で、請求を行っていかねばならないと思っています。今年もこの4月には、診療報酬&介護報酬 同時改定が行われます。4月1日に混乱することの無いよう、現在準備を進めております。

ご意見の窓口として

当院にとって懸案の待ち時間問題。自動再来受付機・自動精算機を導入し、外来待ち時間および会計待ち時間の短縮に努めておりますが、それでも患者さんにはお待たせすることが多くご迷惑をおかけしております。そんな時患者さんは、自分の存在を認識してほし



医事課長 浜本 英久

いと思うんですね。「随分待たされているのに、忘れられてるんじゃないか？」と不安になっている患者さんもおられると思います。お待たせしていることに変わりはないのですが、ここで「お待たせしております。もう少々おまちください」と、ひと声かけるだけでも、気持ちは違うと思うんです。私たち職員にとっては多くの患者さんですが、患者さんにとっては、1対1の関係ですから、お一人おひとりを把握して対応することが重要だと思います。良くも悪くも、患者さんから直接ご意見をいただくのは、殆どの場合受付だと思うんですね。患者さんのご意見の窓口として医事課が真摯に受け止め、満足していただける病院づくりを目指して、より良い改善に生かされればと思っています。



連携医療機関紹介

玉田クリニック



▲ 玉田 香介院長

医療・介護複合施設です

玉田クリニックは、稲生4丁目の交差点を北へ200m程の所にあります。腎臓内科・人工透析内科、糖尿病や高血圧を始めとする生活習慣病、風邪やインフルエンザなど、通常の一般内科外来にも対応するクリニックと、サービス付き高齢者向け住宅(サ高住)メディカルホーム あおぞらを併設した医療・介護複合施設です。



院長の玉田香介先生は、獨協医科大学医学部を平成23年(2011年)にご卒業後、初期・後期研修を鈴鹿中央総合病院で受けられ腎臓内科医として研鑽を積まれた後、平成29年(2017年)9月この地に開業されました。クリニックの前身である玉田医院は御祖父様である玉田秀男先生が昭和36年、四日市に開業されており、その後昭和63年に鈴鹿へ場所を変え、鈴鹿玉田医院を開業されました。当時は内科と通所リハビリを行っていたのだそうです。しかし、香介先生が研修医2年目の時に、御祖父様が亡くなり、その後から29年9月の新築移転までの間は、代りの先生にご協力いただきながらクリニックを継続されておられました。

医師を目指したきっかけ

御祖父様の背中を見て育ち、ごく自然に医師に興味を持っておられ先生は幼稚園の頃から将来の夢は医師だったそうです。「祖父は厳格な人で、自分にとっては怖い存在だったのですが、医大に進学が決まった時、泣いて喜んでくれたんですね。その時は少し祖父に近づけた気がしました。そんな祖父が透析患者になってしまったのは、私が医大に進学してまもなくのことでした。大学の夏休みなどは、祖父の透析の送迎などに付き添っていたのですが、最後の方は寝たきりに近い状態になってしまい、送迎もすごく大変だったんです。ベッドから車いすに移動させるところから始まり、車への移動。車も特殊な車が必要になります。祖父は透析に通うのが辛いとよくこぼしていました。そんな祖父をみていて、透析患者さんやそのご家族がもっと快適に過ごすためにはどうすればいいだろう?と考えるようになりました。祖父は鈴鹿中央総合病院の高木先生に腎臓を診てもらっていました。私は研修先を鈴鹿中央に決め、当時は腎臓内科は高木先生が一人でされていたので、先生への恩返しをしたいとの思いと、祖父の力になりたいとの思いから腎臓内科を専門に研鑽して参りました。そして理想のクリニック像を温めてきたのです」。

自分の理想の形

玉田クリニックは、実際に透析患者だった御祖父様の介護の経験を生かし、さまざまな工夫がなされています。「鈴鹿玉田医院はリハビリ室が2階にあったんですね。患者さんは大変そうでしたので、1階を開放感あるリハビリのフロアにしました。透析に関しては、サ高住の入所者さんが楽に透析を受けられるよう、同じフロアである2階にしました。実際に入所される方がスムーズに透析治療を受けられて元気になっていかれる経過を見ていると本当に良かったと思います」。

DATA

TEL 059-389-6660

住所

鈴鹿市稲生4-4878-2

診療科目

●内科●腎臓内科●人工透析内科
●リハビリテーション科

診療時間

午前/9時00分～12時00分

午後/3時00分～6時00分

※火曜日、木曜日の
午前中は予約診療となります

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	×
午後	○	○	○	×	○	×	×

休診日

透析

木曜午後、土曜午後、日曜日、元旦

外来

木曜午後、土曜午後、日曜日、祝日

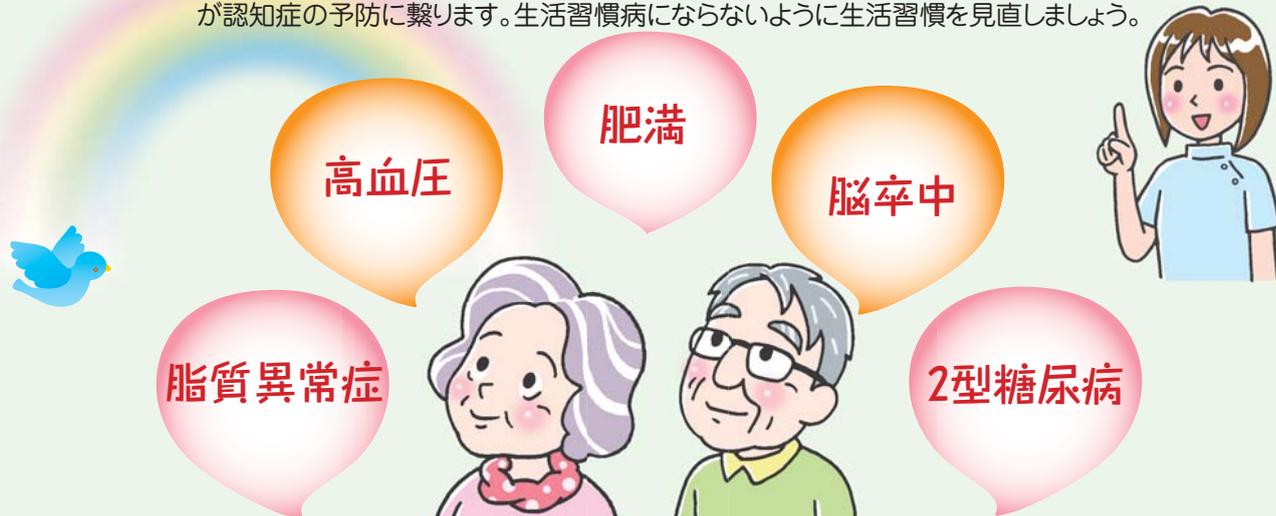


患者さんへのメッセージ

～患者さんには何でも相談できるかかりつけ医をもっていただきたいですね。普段から何でも相談して頂く事で、生活の何気ないお話の中から治療のヒントが見つかることも多々あり、かかりつけ医には生活に密着したアドバイスが出来ると思います。当院においては一般の内科外来診療も行っています。心配な事があれば、遠慮無くご相談ください。当院で対応が難しい疾患などがあれば然るべき医療機関にご紹介させていただきます～
今後の更なる飛躍を期待しています。



生活習慣病が認知症と大きく関わりがあることをご存知ですか？ 例えば、老年期(65～79歳)の高血圧の方は正常な人に比べると認知症のリスクは3.0～5.5倍、中年期(50～64歳)の方は認知症のリスクが2.4～10.1倍とされています。糖尿病は血糖値が正常な人よりも2.1倍も認知症のリスクが高くなるとされています。健康診断等で生活習慣病を疑われても治療をせず放置していませんか？ 生活習慣病を治療することが認知症の予防に繋がります。生活習慣病にならないように生活習慣を見直しましょう。



生活習慣病を治療することが認知症の予防に繋がります!!

発信@

栄養管理室

管理栄養士
北林 明代



●まぐろ缶詰

別名ツナ缶とも呼ばれ、最近ではいろんな種類があります。油漬と水煮はよくご存知だと思いますが、ライトはきはだマグロ、ホワイトはびんながマグロを原材料としており、使用されている魚の種類が異なります。カツオを原材料としているツナ缶もありますが、同じ油漬タイプであれば栄養成分はほとんど変わりありません。食塩や油を添加していないものや、缶ではなくパウチに入ったもの、亜麻仁油やオリーブ油を使ったものもあり、手軽に使いやすい食材となっています。今回の春巻き1本でn-3系脂肪酸の1日摂取目標量(成人)2gを確保することはできませんが、魚が苦手でも全く食べられない場合は少しでも補うことができますので、是非一度お試しください。

ピックアップ食材
まぐろ缶詰

ツナと菜ばなの

春巻き



【材料】(5本分)

- 春巻き皮 5枚
- 菜ばな 1袋
- ツナ(油漬け) 1缶(140g)
- 味つきえのき茸 大さじ1
- A マヨネーズ 大さじ1
- 豆板醤 小さじ1/2
- 菜種油(揚げ油) 1/4カップ

【作り方】

- ① 菜ばなは1cm程度のざく切りにして軽くゆで、水気を切っておく
- ② ツナは油を切っておく
- ③ ①、②をAの調味料で和えて、5等分に分け、春巻きの皮で巻き、揚げて出来上がり

【栄養成分】1人分

エネルギー	204kcal
たんぱく質	6.9g
脂質	16.2g
塩分	0.7g
n-3系脂肪酸	1.1g

※ツナ缶(水煮)を使用する場合は1本150Kcalでn-3系脂肪酸は0.7gとなります



このコーナーでは毎号当院のドクターを紹介してまいります。

Doctors List

植村 剛

うえむら たいし 整形外科 医長

専門領域:整形外科

資格:日本整形外科学会専門医



Q1. 出身地はどちらですか？ 幼少時の思い出を聞かせてください

尾鷲生まれの津市育ちです。3人兄弟の長男で、体が大きく運動が得意で何をやっても1番でした。5歳の時に髄膜炎を患い、それまで幼稚園は皆勤賞だったのですが3ヶ月ほど入院したのを覚えています。



左が先生

Q2. なぜ医師をめざしたのですか？

幼少時からスポーツが好きで、よく怪我をしたのですが、困った時にはいつも親戚の医師に診てもらっていました。その親戚の医師が大好きで、こんな医師になれたらな、と思っていました。中学校の頃には、建築や天体、例えばブラックホールなどの宇宙の不思議にも興味がありましたし、F1などの速い車にも興味をもったのですが、親戚の医師への強い憧れと、両親からの後押しもあり、医師の道を選んだように記憶しています。



小学生時代

Q3. 学生時代の思い出をお聞かせください

大学時代は、留年もせずよく卒業できたと思うくらい、サッカーと飲み会に明け暮れていました(笑)。高校時代の3年間は部活ができなかったのもあり、サッカーに没頭してしまったんでしょうね。火・水・金・土・日の夜は練習。メンバーは初心者からハイレベルまで約20人くらいでした。キャプテンが決める練習メニューに則って、1年生から6年生の夏まで続けました。それからの国家試験の勉強は、「このままだと無理だぞ!」と友達に怒られて吐くほどしましたね(笑)。

Q4. 整形外科を専門にしたのはなぜですか？

大学6年の時に、鈴鹿回生病院に見学に来たんです。1週間の研修はとても充実したもので、最終日、加藤先生に「待ってるからな!」と声をかけていただいたのがすごく嬉しくて、加藤先生の元で仕事がしたいという思いが強くなりました。その後の研修も回生病院を選び、ごく自然に整形外科を選びましたね。細かい事が好きだったので、脳外科にも興味がありましたが、自身がスポーツで怪我をして一番お世話になったのが整形の先生だったこと、自分と同じようなスポーツ好きな人たちをサポートして行きたいとの思いから、整形外科を選択しました。

Q5. 趣味や好きな事(ストレス発散方法など)は何ですか？

基本的に体を動かす事が好きなので、やはり空いた時間を見つけてやるサッカーですね。あとは、長男(3年生)が野球をやっているので、休みの日にはキャッチボールをしたり、ノックを打ってあげて一緒に汗を流しています。次男は最近サッカーをはじめましたので、いつか一緒にサッカーが出来たらいいなと思いますね。あとは、最近はじめたゴルフとお酒を少々(笑)。安心して飲めるのは週末くらいですが、お酒はビールと焼酎が好きです。焼酎は芋が好きですね。

Q6. 今後力を入れて行きたいことは何ですか？

肩関節を専門に診療させていただいております。少年野球や高校野球で肩を痛めたとか、中高年のいわゆる四十肩、五十肩など、頑張って診ていきたいと思っています。



大学時代サッカー仲間と



大学時代試合にて

Message

患者さんへのメッセージ

患者さんが「自分の家族だったどうするか?」と常に考えて、治療に臨むようにしています。患者さんのニーズに応えられる整形外科医として尽力して参ります。

健康セミナー開催しました

2月10日(土)に第14回健康セミナーが開催されました。ヘリコバクターピロリ菌や腰痛対策の運動についての講演・簡単ストレッチ・計測コーナーを行い、多くの方にご参加いただき大盛況でした。またのご参加をお待ちしております!



4月 糖尿病教室のお知らせ

4月19日(木) 11:30~13:45 糖尿病教室を開催します。糖尿病と上手く付き合うために糖尿病について楽しく学べる体験型の教室です。この機会と一緒に糖尿病について学びませんか?申し込みまたはお問合せは、栄養管理課(059-375-1329)まで。参加費はお一人様 1000円(食事代込み)となっております。食事は、指示範囲内で好きな料理を選んでいただきます。※5月以降のスケジュールは未定のため次号でご案内させていただきます。

2018年

前期腎臓病教室スケジュール

「食事と運動こそすべての養生の基本」であるということを毎回参加者に楽しく学べる体験型の教室です。当院受診の方だけでなく、ご家族の方や他の病院に通院の方、腎臓病ではなくても関心のある方ならどなたでも参加いただけます。教室では食事療法に役立つ昼食などをご用意させていただきます。この機会にぜひ腎臓病について学びませんか?6月と9月はオリジナル弁当(範囲内で自分で献立を選ぶ)開催予定です。

4/26(木)	11:45~13:30
5/31(木)	11:45~13:30
6/28(木)	11:30~13:45
7/26(木)	11:45~13:30
8/30(木)	11:45~13:30
9/27(木)	11:30~13:45

都合により日時が変更になる場合がありますので、ご了承ください。

お申し込みは

開催の1週間前までに下記までお申し込みください。

栄養管理課: 059-375-1329

参加費: お一人様 1000円(食事代込み)

※定員になり次第予約を締め切らせていただきますのでご了承ください。



3月8日は世界腎臓デーです

腎臓病の早期発見と治療の重要性を啓発する国際的な取り組みとして、毎年3月の第2木曜日を「世界腎臓デー」とし、各地で啓発キャンペーンが開催されています。当院においても腎臓病教室スタッフが、それぞれのテーマに沿って作成したポスターを掲示します。ぜひお越しください。

場所 クリニック多目的室 **期間** 3月5日(月)~4月6日(金)

ほっと smile 第1回 鈴鹿回生病院 Shoulder Live Surgery 開催しました



平成29年12月15日(金)船橋整形外科病院スポーツ医学・関節センター長の菅谷啓之先生にお越しいただき、第1回 鈴鹿回生病院 Shoulder Live Surgery を開催しました。菅谷先生は肩・肘関節に対する関節鏡視下手術の名手として世界的にも名高く、その手術を見学するため、県内外から肩を専門とする28名の整形外科医が集まりました。映像ではなく、ライブで菅谷先生の手術を見学することは、手術手技のみならず、「術中の的確な判断」「手術に必要な設備や機材の選択」など、非常に勉強になりました。鈴鹿回生病院では病院の垣根を越えて、最新の手術手技の普及に力を入れています。



代表世話人: 鈴鹿回生病院 整形外科 福田亜紀



編集後記

今回は「医事課の役割紹介」を中心に、医療連携紹介などをお送りいたしました。皆さんから本誌へのご意見・ご感想・ご要望等がございましたら、広報委員会までお寄せください。

鈴鹿回生病院 広報委員会

〒513-8505 三重県鈴鹿市市府町112番地の1

TEL059-375-1212 mail:info@kaiseihp.com

病院の理念

生命への奉仕

病院の方針

- ▶ 地域の基幹病院として医療と健康の増進に貢献します
- ▶ 個人の尊厳を守ります
- ▶ チーム医療を推進し安全で高度な医療を提供します
- ▶ 将来を担う有能な医療従事者の育成に努めます
- ▶ 地域と連携し災害時救援活動を行います
- ▶ 働きやすく健全な病院運営に努めます